



真のプロフェッショナルとして羽ばたく「研修制度」が充実しています。

薬と病気との関わりについて、テーマを決めて学習する

1年目（高血圧をテーマにした研修）

※2～3年・中堅・薬剤師も、1年目と同じようにキャリアに応じたテーマが与えられ、研究発表会で発表する。



多彩な研修プログラムで薬剤師としての豊富な知識と確かな技術を備えた“プロ”を育てます

長野県民医連薬剤師委員会では、それぞれの病院・薬局での研修以外に研修委員会を中心に新入薬剤師から中堅薬剤師まで長野県民医連の薬剤師として、質の高い薬剤師の育成に注力しています。

新人薬剤師は、現場で接することの多い疾患の一つ「高血圧症」について約半年間研修を受け、最終的に患者さんへ渡すことのできるパンフレットを作成・発表します。また、途中入職の薬剤師もレベルに合わせた研修参加が可能となっています。

2年目、3年目薬剤師も同様に、糖尿病や喘息など異なったテーマで継続して研修を受け、5年目から10年目の中堅薬剤師には、より専門的な部分まで踏み込んだ内容で研修カリキュラムが用意されています。

また、階層別研修として、初期研修、レベルアップ研修、ステップアップ研修があります。このような成長育成カリキュラムを備え、教育や研修に力を入れるのは、優れた薬剤師の育成が何よりも優先されているからです。研修を通じて、高度な薬学的知識と、社会人としての素養、おもてなしの心を持った薬剤師となれるようバックアップをしています。



先輩薬剤師からの声



ひまわり薬局
若田 直樹さん
2006年入職

諏訪ひまわり薬局には在宅医療に興味を持ち志望しました。実際に地域に向かいみると知識の他にコミュニケーション力も身に付きました。他職種との連携も求められてやりがいを感じています。実務実習生の受け入れも積極的に行っており後継者の育成にも力を入れています。

COLUMN 1

あおぞら薬局
小林 幸子さん
2009年入職

1～3年目にかけて高血圧、糖尿病、脂質異常症について、それぞれの病態や薬剤について再度学習するとともに、生活習慣の改善など病気の予防方法を学びました。最終的に患者さんに渡せるパンフレットを作りました。患者さん目線でわかりやすく興味をもてるような内容にしました。勉強会では県連の同期と交流する機会にもなり仲良くなりました。

